

衛生研究所WEBページ情報(その45)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、1998年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を市民にわかりやすく提供しています。

今回は、2007年10月のアクセス件数、アクセス順位及び2007年11月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については行政運営調整局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (2007年10月)

2007年10月の総アクセス数は、253,472件でした。主な内訳は、感染症64.6%、食品衛生15.4%、保健情報6.4%、生活環境衛生2.6%、検査情報月報4.8%でした。

(2) アクセス順位 (2007年10月)

10月のアクセス順位(表1)は、「マイコプラズマ肺炎について」が第1位でした。

今年、マイコプラズマ肺炎は、過去5年間と比較すると多い状態が続いており、全国でも、9月中旬から下旬にかけて増加がみられ、関心が高かったものと思われます。

2位が「手足口病について」でした。

今回、初めて「鼻疽及び類鼻疽について」が上位10位にはいりました。

鼻疽及び類鼻疽は、平成19年4月1日の感染症法の改正により、四類感染症に新たに追加になった疾患です。

当初鼻疽は、ウマ科の動物において認められた感染症ですが、ヒトにおいてもまれに感染する人畜共通感染症です。

類鼻疽は、げっ歯類・ヒツジ・ヤギ・ウマ・ブタ・ウシ・イヌ・サル・熱帯魚などの病気として、見られますが、ヒトに感染する場合もあり、鼻疽同様に、人畜共通感染症です。

鼻疽菌も類鼻疽菌も、ヒトへの感染は、鼻・口・目の粘膜から、あるいは吸い込まれて肺から、あるいは傷ついた皮膚から起こります。実験室・検査室において、培養したものが飛沫となってヒトへの感染を起こしやすく、噴霧することにより、生物兵器として使われる可能性があります。

表1 2007年10月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	12,996
2	手足口病について	8,852
3	性器クラミジア感染症について	5,999
4	EBウイルスと伝染性単核症について	5,754
5	百日咳について	5,600
6	インフルエンザワクチンについて	4,984
7	RSウイルスによる気道感染症およびパリビズマブ(Palivizumab)について	4,631
8	鼻疽及び類鼻疽について	4,600
9	サイトメガロウイルス感染症について	4,387
10	大麻(マリファナ)について	3,578

データ提供:行政運営調整局IT活用推進課

(3) 電子メールによる問い合わせ (2007年11月)

2007年11月にホームページのお問い合わせフォームを通していただいた電子メールによる問い合わせの合計は、6件でした(表2)。

表2 2007年11月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
過酸化物質による食中毒事例の資料について	1	衛生研究所
梅毒について	3	衛生研究所
リンクについて	1	衛生研究所
ギラン・バレー症候群について	1	衛生研究所

2 追加・更新記事 (2007年11月)

2007年11月に追加・更新した主な記事は、5件でした(表3)。

表3 2007年11月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
11月1日	横浜市内における蚊・カラス等のウエストナイルウイルス検査結果	更新
11月2日	感染症に気をつけよう	追加
11月22日	ホスピタルダイエットに注意しましょう!	追加
11月29日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新
11月30日	横浜市におけるインフルエンザ等の流行情報(その4)	追加

【 感染症・疫学情報課 】